

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
越前市	小野谷町	令和2年2月	平成27年3月

集落座談会: 令和2年2月11日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	46.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	46.6 ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	7.6 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3.0 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	10.0 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、耕作している人の高齢化が進んでいる。</li> <li>・耕作者の後継者がいても、農業をやりたがらない。</li> <li>・町内の平均耕作面積は約1.2haであるため、農業機械の個人所有率が高く、共同購入の意識が低い。</li> </ul>
--

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>集落営農組織Bを中心経営体として位置付けをし、後継者のいない農家や機械の買い替えをためらっている農家の全面受託及び作業受託を行っていく。</p>

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
集	集落営農組織A	水稻	4.7 ha	水稻	4.7 ha		
集	集落営農組織B	水稻、麦	18.0 ha	水稻、麦	28.0 ha		R2.2新規追加
計	2人		22.7 ha		32.7 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>集落営農組織Bでの共同作業に多くの町民に参加してもらい、町内の耕作意識の向上と人のつながりを深めていく。</p>